

埋文やまがた



2015年1月31日

第54号



平成26年度 発掘調査説明会



上：^{はぐろじんじやし}羽黒神社西遺跡（村山市）

中：^{しず}清水遺跡（村山市）

下：^{やわたいち}八幡一遺跡（川西町）

※概要はトピックスにて
また、説明会時に配付した資料は、センターホームページからダウンロードできます

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上市市中山字壁屋敷5608 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

平成26年度 文化財普及啓発事業

今年度、山形県埋蔵文化財センターでは、文化財普及啓発事業の一環として、「発掘調査説明会」、「出前授業」、「外部展示」、「職場体験」、「センター見学・遺跡見学」、「体験学習」、「埋蔵文化財センター参観デー—埋文まつり2014—」、「発掘調査速報会」等を実施しました。(平成26年12月現在)

発掘調査説明会

	市町村	遺跡名	遺跡種別	開催日
1	村山市	羽黒神社西遺跡	集落跡	11月 8日
2	村山市	清水遺跡第7・8次	集落跡	11月 8日
3	川西町	八幡一遺跡	集落跡	11月 9日

出前授業

地区	実施校	対象	期日
庄内	1 三川町立押切小学校	第6学年	4月21日
	2 鶴岡市立藤島小学校	第6学年	4月25日
	3 鶴岡市立朝陽第三小学校	第6学年	4月28日
	4 遊佐町立藤岡小学校	第6学年	5月 9日
	5 酒田市立松山小学校	第6学年	5月13日
	6 庄内町立余目第四小学校	第6学年	5月26日
	7 遊佐町立吹浦小学校	第6学年	5月30日
村	8 尾花沢市立尾花沢小学校	第6学年	4月15日
	9 山形市立第八小学校	第6学年	4月17日
	10 山形市立鈴川小学校	第6学年	4月18日
	11 東根市立大森小学校	第6学年	4月23日
	12 中山町立豊田小学校	第6学年	4月24日
	13 大石田町立大石田南小学校	第6学年	4月30日
	14 東根市立小田島小学校	第6学年	5月 1日
	15 朝日町立宮宿小学校	第6学年	5月 7日
	16 村山市立楯岡小学校	第6学年	5月12日
	17 東根市立長瀬小学校	第6学年	5月16日
山	18 河北町立北谷地小学校	第6学年	5月21日
	19 寒河江市立西根小学校	第6学年	5月22日
	20 河北町立谷地中部小学校	第6学年	5月23日
	21 寒河江市立幸生小学校	第5・6学年	5月27日
	22 大江町立左沢小学校	第6学年	6月10日
置賜	23 長井市立西根小学校	第6学年	4月14日
	24 米沢市立東部小学校	第6学年	4月16日
	25 米沢市立六郷小学校	第5・6学年	5月14日
	26 高畠町立糠野目小学校	第6学年	5月19日

センター見学・遺跡見学・施設利用

	団体名	期日
1	上市市立南小学校第5学年	5月 1日
2	長井市教育委員会	5月12日
3	山形県立山形盲学校中学部	6月24日
4	霞城学園高等学校【山形城三の丸跡第14次】	7月 8日
5	川西町国際交流協会【八幡一遺跡】	7月26日
6	朝日町教育委員	8月 8日
7	東北学院大学【羽黒神社西遺跡】	8月18・19日
8	村山市立西郷小学校第6学年 【清水遺跡第7・8次・羽黒神社西遺跡】	9月25日
9	西沼田遺跡公園『西沼田大学』	9月26日
10	川西町教育委員会【八幡一遺跡】	9月27日
11	鶴岡市鷲畑山古墳調査会	10月 6日
12	上市市立南小学校第2学年	10月15・17日
13	川西町立大塚小学校第4学年【八幡一遺跡】	11月 7日
14	山形県立米沢興譲館高等学校	11月18日
15	南陽市教育委員会	12月17~19日

外部展示

うきたむ風土記の丘考古資料館 「押出遺跡の新資料展」 - 押出遺跡 - 会期：6月14日～9月24日
ゆめりあ ストリートギャラリー 「最上のあけぼの」～複式炉が造られた竪穴住居～ - 小反遺跡 - 会期：9月5日～10月5日
鶴岡市櫛引公民館 「足元には文化財展」～鶴岡市の遺跡から出土した土器～ - 三礎林E遺跡・柳沢A遺跡・野新田遺跡・矢馳A遺跡 - 会期：10月31日～11月29日
遊学館 1階ギャラリー 「発掘された‘文字’」 - 今塚遺跡、梅野木前1遺跡、亀ヶ崎城跡 - 会期：12月12日～1月9日
山形県身体障がい者保養所 東紅苑 「東根の歴史」～小田島城跡に暮らした人々～ - 小田島城跡 - 会期：1月16日～2月15日

職場体験

	団体名	期間
1	上市市内中学校 「キャリアスタートウィーク」	7月1日～3日

体験学習

	団体名	期日
1	舟形町教育委員会『縄文炎祭』	8月 2日
2	尾花沢市 夏休み「こども縄文体験教室」	8月 6日
3	山形市立蔵王第二小学校2学年PTA	9月 7日
4	山形市小教研生活科総合的な学習部会	9月10日
5	朝日少年自然の家「朝日わくわく広場」	9月20日
6	山形市立金井小学校6学年PTA	10月17日
7	上市市あざみ学童クラブ	11月17日
8	鶴岡市「足元には文化財展」体験講座	11月28日

センター主催研修・講座

	講座名	期日
1	第1回市町村文化財担当者研修会	6月 5日
2	ふるさと考古学講座(1)-① 展示「上山と周辺の弥生・古墳時代」	7月19日～8月24日
3	夏休み子どもミュージアム 「掘ったほったやまがた」	7月22日～8月22日
4	ふるさと考古学講座(2) 「遺跡を掘ってみよう！」	8月10日
5	ふるさと考古学講座(1)-② 体験「昔の人のくらしを知ろう」	8月17日
6	ふるさと考古学講座(3) 「バスで遺跡を見に行こう！」	9月28日
7	埋文センター参観デー 「埋文祭り2014」	10月26日
8	第2回市町村文化財担当者研修会	11月 6日
9	平成26年度発掘調査速報会	12月14日

平成26年度 発掘調査速報会

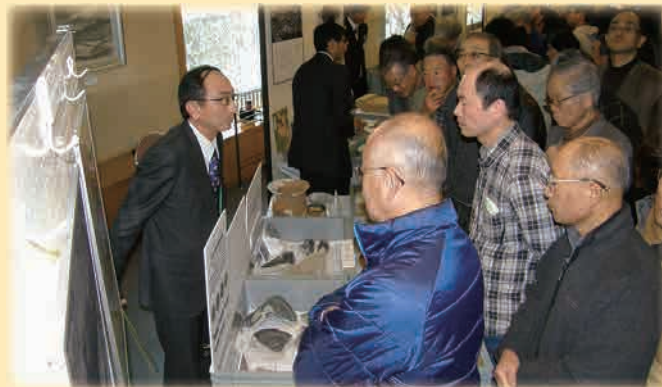
期日：平成26年12月14日(日)
会場：遊学館 2Fホール

今年の速報会は、会場をこれまでの^{しょうよう}飴葉プラザから遊学館に移して行われました。衆院選挙と重なり客足が心配されましたが、幸い多くの方々のご来場をいただくことができました。

表紙とトピックスにてご紹介している3遺跡に加え、山形城三の丸跡第14・15次と福島県震災復興派遣の、合わせて延べ5遺跡+派遣の報告が行われました。



専務理事のあいさつ



発掘担当者による出土遺物の解説も行われました。



ようこそ 埋蔵文化財センターへ

国際交流協会 留学生による遺跡見学と発掘体験



7月26日 川西町 八幡一遺跡にて

山形県立米沢興譲館高校1年生 SSH



11月18日 センターにて

上山市立南小2年生 センター見学



10月15日 センターにて

今年も多くの皆さんに埋蔵文化財センターをご利用いただきました。誌面ではごく一部をご紹介しています。変わり種は国際交流協会の皆さんによる発掘体験でしょうか。センターとしてはおそらく初となる、外国人の団体による見学・発掘体験でした。猛暑の中でしたが、皆さん楽しげに発掘に取り組んでおられました。

埋蔵文化財センターでは、見学や各種の研修等でのご利用を、随時受け付けております。ご相談は、総務課企画情報室までお寄せ下さい。

ふるさと考古学講座(3)

平成26年9月28日(日)

バスで遺跡を見に行こう!



東の杜資料館

バスは一旦、東根市の東の杜資料館へ。見学に先立って、村山地方の縄文時代についてのレクチャーを行いました。その後、訪問予定の遺跡から出土した遺物の解説をし、最後に資料館の収蔵品も見せていただきました。



羽黒神社西遺跡

調査を担当している職員から遺跡の性格や遺構・遺物の出土状況など、生の声を聞くことができました。

『むらやま縄文の旅』



荷渡(にわたり)神社

宮の前遺跡に隣接する小さな神社です。「宮の前」という地名にある「宮」とは、この神社を指すものと思われます。うっそうとした社に包まれた静かな佇まいのお宮で、目の前の遺跡は、黄金色の稲穂におおわれた、豊かな水田となっていました。



中村A遺跡

中村A遺跡は、1982年に山形県教委により発掘調査された、縄文時代の遺跡です。現在は「中村遺跡縄文公園」となっており、数棟の竪穴住居が復元されています。調査時に発掘された石組みの炉(複式炉)跡や、柱の様子を再現した構造物があったり、縄文人の食料だったトチノキなどが植えてあったりして、当時の人々の暮らしを彷彿とさせる工夫が、楽しい公園です。



今年のバスツアーのタイトルは、『むらやま縄文の旅』。今回訪問した村山市方面は、東北中央自動車道の建設を受け、二つの遺跡で発掘調査が行われています。そのうちの一つである羽黒神社西遺跡の発掘現場を訪問の中心に据え、その他、これまで埋蔵文化財センターや山形県教委で発掘してきた、宮の前遺跡・中村A遺跡等の遺跡をめぐる旅です。羽黒神社西遺跡では、日曜日のため現場の発掘作業はお休みだったのが残念でしたが、それでも、数千年ぶりに姿を現した縄文土器を目の当たりにできた皆さんには、充分刺激的な見学になったようです。

ツアー当日は、終日さわやかな秋晴れに恵まれ、縄文漬けの一日を思い切り満喫していただくことができました。

埋蔵文化財センター参観デー 平成26年10月26日(日)

埋文まつり 2014



企画展示

3つの会場ごとにテーマを設定し、これまでの発掘成果をご紹介します。ガラス越しでなく、生で見られるのがセンターの展示の魅力です。来年は是非2階へも足をお運び下さい。



勾玉作り体験

毎年大人気の勾玉作りですが、今年の勾玉はちょっと違う。なんとコハク製です。これを目当てに来場した方が、大勢おられたとか……。



発掘体験

新登場のコーナー。砂に埋まった本物の遺物を掘り出します。小さいお子さんにとっては宝探しのようで、とても楽しそう。



復元作業体験

まるでパズルのような復元作業。あーでもない、こーでもないと皆さん真剣に取り組んでおられました。こちらも本物の土器を使用しています。



石器製作実演

古代人の石器製作を再現しています。実験考古学と呼ばれている分野で、実際に作ってみることで当時の石器製作技術を研究しています。

縄文人や平安貴族、戦国武将になれます。コスプレ感覚の写真館は、行列ができました。今年も大好評をいただきました。



れきし仮装写真館



弓矢体験

昨年はグラウンド開催だった弓矢会場ですが、今年は体育館に設定してみました。何度も列に並びなおす子もいる程で、大人も結構楽しめます。



スタンプラリー

景品のミニハニワやマグネット鎮は、職員手作りの限定非売品。なかなかの逸品で、販売を希望する声が多数寄せられたほどでした。

10月のおだやかな秋空の下、恒例の『埋文まつり』を、『東北文化の日(10月25・26日)』の協賛企画として実施しました。一昨年のセンター移転で、一時客足が鈍ったかと思われましたが、今年は例年並みの500名近くのお客様をお迎えし、賑やかな1日にすることができました。

センターの通常の仕事を体験していただく考古学体験の各種コーナーをはじめ、勾玉作りやれきし仮装写真館等、毎年好評をいただいているおなじみの企画も取りそろえ、お客様はもちろんのこと、職員一同楽しい1日を過ごすことができました。誰が言ったか「大人の文化祭」。来年度も開催予定ですので、是非皆さんでおいで下さい。

はぐろじんじゃにし

羽黒神社西遺跡 —尾根上の縄文遺跡—

村山市

羽黒神社西遺跡は、村山市の名取字清水^{しみず}にあります。遺跡は、河島山丘陵の東側に張り出した舌状の丘陵地に位置しています。

今回の調査は、東北中央道建設工事に伴い、遺跡にかかる事業の範囲、約4,300㎡の調査となります。事前の試掘調査では、縄文中期の土器（大木8b式）が多量に発見されていました。そのことから、本遺跡は、縄文時代中期の集落跡であることが予想されました。

調査では、縄文時代中期（約4,400年前）を中心とする遺物が大量に発見されました。出土した土器のほとんどは、大木8b式という土器型式に当てはまることから、中期の中ごろのごく短期間の遺跡と言えます。特に調査区のうち、東側の南斜面（3区）と北斜面（4区）に、大量の中期の土器片や石器など集中して出土する傾向がありました。

発見された遺構は、10 cm程度の石で囲った石囲い炉1基と石で囲った内側に土器片を敷き詰めた土器敷き石囲い炉1基、径1.5mで深さ約2mのフラスコ状土坑4基、径約1mで深さ約1.5mの陥^{おと}穴^{あな}1基です。また、土を埋め立てて整地した痕跡も発見されました。来年度以降に、調査区東側を精査する予定ですので、今後遺構の分布状況がより明らかになると思われます。

発見された遺物は、大量の土器片とともに、大きな石皿^{すりいし}や磨石^{たたいし}、敲き石といった礫石器のほか、磨製石斧^{ませいせきふ}と、石鏃^{せきぞく}や石匙^{いしき}などの打製石器です。大量の土器に比べて、打製石器が少ないことも特徴的です。遺跡の近隣で石器の材料となる珪質頁岩^{けいしつげつがん}が採れないことが原因と考えられます。

土器は、深鉢形や浅鉢形、大きさはかなり大型のものからミニチュアなものまであります。土偶は、5体あるいは6体発見されました。そのうち1体は、完全な形に復元できます。また、大型で精巧な文様が施された土偶の脚部や腰部もあります。土偶以外では、袋状土製品も出土しました。

このほか、中期の遺物が出る地層よりも下の地層から、より古い縄文時代早期の押型文土器や沈



4区2層遺物出土状況



4区2層出土の土偶



3区2層検出の石囲い炉

せんもん^{せんもん}ど^どき^き縄文土器などが出土しました。また、わずかながら、古代の須恵器や砥石も発見されました。

(大場正善)

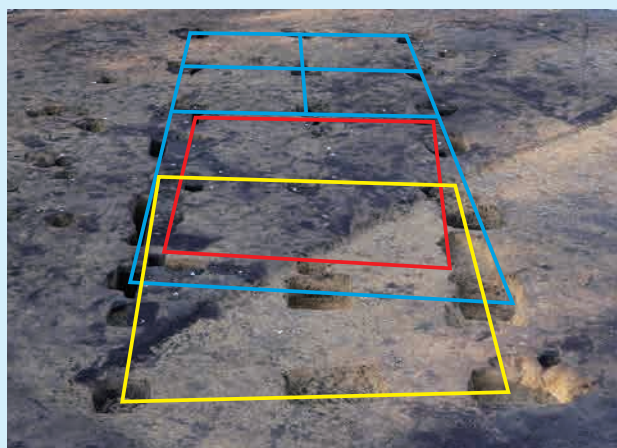
清水遺跡は、村山市東部の最上川が蛇行する右岸部の清水地区のなだらかな丘陵の東斜面上に位置する縄文時代と平安時代の広大な遺跡です。

平成22・23年度に清水遺跡(1)～(4)の地区に分け第1～6次調査を行いました。今年度はその清水遺跡(1)～(3)の未調査区及び追加IC部分の調査を行いました。

清水遺跡旧(1)地区の狭い調査区からは2棟の竪穴住居跡が検出されました。南東隅にカマドが造られ、蓋、坏、甕の他にミニチュア土器など多くの遺物が出土しました。

清水遺跡旧(2)地区では、東側の調査区から重複した竪穴住居跡や竪穴建物跡などが見つかりました。清水遺跡旧(3)地区では、縄文時代の陥し穴と平成23年度に確認されていた掘立柱建物群と区画溝の続きが東西の調査区で見つかり、さらに西側に広がるのが分かりました。遺物も土師器と須恵器の他、墨書土器などが出土しました。

今回までの調査結果から、清水遺跡の丘陵は、縄文時代には狩猟の場として機能し、8世紀末頃から集落が営まれ、9世紀には、各地点に集落が点在したと考えられます。南には丘陵部に住居が



2×3間(黄)、2×5間の側柱・総柱(青)、2×2間(赤)の建物計3棟の建て替えがあります。

並び、低地に構築した溝を灌漑や排水に利用した集落が存在し、北には、丘陵斜面に住居や掘立柱建物跡を建てた集落、さらに隣接して北に、溝で区画した建物群が立ち並んでいたと推測されます。建物や住居の重複と、出土遺物から、短い期間での変遷が窺え、堆積していた火山灰から10世紀初頭には、各集落は廃絶していたと思われます。

(氏家信行)



清水遺跡旧(1)調査区です。Y字の狭い調査区から2棟の竪穴住居跡が見つかりました。手前の住居は南東隅にカマドが造られています。



清水遺跡旧(3)調査区の全景写真です。今年度は、東北中央道の東西に付くスマートIC部分を調査しました。西側に多くの建物跡があります。

前号 考古学クイズ の答え

2

古銭は約100枚ほどをまとめた繻と呼ばれる状態で納められており、最上段で16本が確認できます。曲物の深さから、およそ10,000枚と推定しています。

八幡一遺跡は、米沢盆地を北流する最上川が形成した河岸段丘の北側に位置しています。遺跡の主な時代は、平安時代や中世と考えられますが、出土遺物には縄文時代から近世までのものが含まれています。

調査区の中央部で、東西に伸びる旧河道が見つかりました。かつては水が流れており、西側に流れる元宿川へ合流したもののようです。やがて水の流れは途絶え湿地に変わりました。内部からは古代・中世の遺物が出土していますが、この湿地の中で使用されたものではなく、調査区の南北にある微高地上から廃棄されたものと考えられます。この旧河道の北端から大変興味深い遺物が出土しており、調査区の北側に未発見の重要な遺跡が存在していることが予測されます。

出土した9世紀前半に属する須恵器の小型壺の底部には、『佛法為』と刻まれていました（写真：左）。この小型壺は水瓶、あるいは浄瓶という仏具であると考えられます。佛法とは仏教と同義であり、仏教を信仰する人々が使用していたものでしょう。また、滑石製石鍋（13世紀）は、北部九州で生産され、西日本と鎌倉から数多く出土しています。本遺跡のものは県内では3例目となり、鎌倉幕府との関連を予想させるものです。

ほかには、縄文時代の石鏃、弥生時代の太型 蛤刃石斧、古墳時代の土器、古代の土器や素掘りの井戸、中世の木製井戸枠をもつ井戸（写真：右下）や板碑、陶器、青磁、近世の木棺墓などが見つかっています。



底部に「佛法為」と刻まれた須恵器の小型壺

調査区内で見つかった遺構・遺物は多くはありませんが、調査区の北側に重要な遺跡が存在していることを示す資料が見つかったことが大きな成果と言えます。（水戸部秀樹）



調査区の中央に旧河道があり、その両側に井戸や土坑などが検出されました



木製の井戸枠の中から曲物や陶器が出土しました

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。
なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301(代表)

編集後記

盛夏、外国人留学生の方々の見学・発掘体験を受け入れました。ワンピースに日傘、ミュール履きでのおしゃれな発掘風景は、ちょっとシュール。ごく短時間のお試しとはいえ、きちんと確認しておくべきだったと反省、反省。